

生協による地域課題の解決及び地域福祉に資する取組事例（第三弾）

番号	生 協 名	地域課題 ①買い物支援 ②高齢者等の見守り ③コミュニティづくり ④子育て支援 ⑤住まい支援	事業実施地域	実 施 内 容（概要）
1	生活協同組合 コープさっぽろ	① ④	北海道179市町村中 ① 138市町村 ④ 3町村	道内自治体との意見交換を通じて把握した各自治体の課題を解決するため、自治体と連携して実施する社会貢献活動を事業化。自治体との連携による協働事業として実施。
2	生活協同組合 コープあおもり	④	青森県 青森市、 八戸市、五所川原市、 三沢市	県社協が実施する、社会的に孤立した家庭に商品を提供する「こども宅配おすそわけ便」に対し、食料品等は無償で提供。子育て世帯や子どもに対する支援を継続的にを行い、これらの世帯とのつながりを構築したうえで必要な時に必要な支援を実施。
3	みやぎ生活協同組合	④	宮城県 仙台市	宮城県と仙台市より、生活困窮者自立支援法に基づく家計改善支援事業を受託し、暮らしや家計、お金に関わる悩みを抱える相談者の暮らしの改善・家計再生支援を実施。
4	生活協同組合 コープみらい	④	千葉県、埼玉県、 東京都	千葉県、埼玉県、東京都の組合員のうちの「ひとり親世帯の高校生」を対象とした「奨学金給付事業」を実施。 【事業概要】 ・ 高校3年間、月額1万円を給付 ・ 返済不要
5	福井県民生活協同組合	③	福井県 越前市	デイサービスセンターの認知症高齢者等の利用者が、ひとりひとりやりたいことを実現できる『「ハタラク」デイサービス』を運営。
6	生活協同組合 コープぎふ	①	岐阜県 飛騨市、 高山市、白川村	飛騨市、濃飛バス、コープぎふの3者が協力し、市営バスを活用した貨客混載事業の展開による、買い物困難地域等に対する支援を実施。
7	トヨタ生活協同組合	③ ④	愛知県 豊田市、 みよし市	豊田市に居住する、生協を利用する子育て世帯を対象に、店舗を拠点とした支援を実施。 1. 家計応援：子育て世帯の家計を応援（商品の値下げ、割引） 2. 楽しさ：子どもと楽しめる売り場づくり 3. 商品：離乳食やお菓子など商品の充実 4. 生活サポート：買い物ついでのサービスの充実
8	生活協同組合 コープあいち	②	愛知県 豊明市	豊明市に居住する高齢者や障害のある方の、日常生活のちょっとした困りごとを支援する生活支援サービスを実施。
9	生活協同組合 コープみえ①	① ③	三重県 桑名市	桑名市社協が運営する、多世代共生施設内にある店舗へ生協商品を供給し、買い物に不自由する高齢者等を支援。
10	生活協同組合 コープみえ②	④	三重県 伊賀市	伊賀市社協が実施する、生活困窮者等を対象とした食料や日用品等を支援する活動に対し、組合員から返品された商品を支援物資として供給。 寄付物品だけでは欠品する商品については、供給要請を踏まえ有償でも供給。
11	大阪いずみ市民生活協同組合	③	大阪府 大阪狭山市、 八尾市、堺市、高石市	「学び、つながり、支え合う」ことをコンセプトに、生協の施設を、地域住民が、団らんや自分時間を求めて自然と立ち寄れる「まちに開かれたリビング」として開放。 「自分がやりたい」と思う活動を通して、「人と人とのつながり」が生まれ続ける場所づくりを目指すプロジェクト。
12	生活協同組合 コープこうべ	① ② ③ ⑤	兵庫県 神戸市、 尼崎市 他	1. 住宅支援：住宅要配慮者に対する、市営住宅の空き家の提供の支援。 2. 買い物支援：近所にお店がない高齢者に対する、お店までの送迎等の支援。 3. 地域のつながりづくり：福祉作業所の利用者による協働宅配。 4. 助け合える地域づくり：ご近所の困りごとを、ご近所同士が助け合い、解決することができる地域づくりのデジタル化。 5. 女性支援：住宅取得が困難なシングルマザーや若年女性、外国人留学生等を支援する居住支援法人への遊休資産の提供。

番号	生 協 名	地域課題 ①買い物支援 ②高齢者等の見守り ③コミュニティづくり ④子育て支援 ⑤住まい支援	事業実施地域	実 施 内 容（概要）
13	市民生活協同組合 ならコープ	① ②	奈良県 川上村	「ならコープ」が川上村の高齢者を対象に実施していた宅配業務を社団法人に委託し、村内の高齢者に対する宅配業務と見守り活動を併せて実施。 村内での雇用創出、地域振興、誰もが安心して住み続けられる仕組みの構築に貢献。
14	鳥取県生活協同組合	① ② ③	鳥取県 米子市	米子市の県営団地入居者の高齢化、孤立化に加え、近所にあったスーパーマーケットの閉店に伴い、買い物に困難を来す県営団地に居住する高齢者への支援を目的として自治会が設置した「支え愛の店ながえ」において生協商品を供給。 「支え愛の店ながえ」における夕食宅配にあわせて見守り活動を実施。
15	生活協同組合 おかやまコープ	② ④	岡山県 全域	屋内外の掃除、食事づくり、洗濯等の「ふだんのくらしの中での困りごと」を、「困ったときは、お互いさま」の精神で、組合員が応援者として、自分にできる範囲でお手伝い。
16	エフコープ生活協同組合	④	福岡県 太宰府市	エフコープと4つの企業・団体が協働で「子ども応援団」を組織し、生協の配送センターを活用したフードバンク活動等で集めた食品の配布など、「食」に困る世帯を支援。
17	生活協同組合 コープかごしま	① ③	鹿児島県 薩摩川内市	薩摩川内市社協などと協力した、無店舗配達と公民館活動の連携による、買い物に困難を来す高齢者を対象にした買い物支援と地域コミュニティ活動の場の提供。

自治体との連携による協働事業（買い物困難者対策、給食支援）

生活協同組合コープさっぽろ（北海道）

【事業実施地域】

北海道内 179市町村中
《移動販売車》 138市町村
《スクールランチ》 3町村

- 専務理事直轄の組織として設置した地域政策室（自治体職員の受入を実施）が、道内自治体との意見交換を通じて把握した各自治体の課題を解決するため、自治体と連携して実施する社会貢献活動を事業化
- 課題解決に向けて生協ができることを6つのテーマに整理し、自治体との連携による協働事業として実施
 - ①買い物困難者対策（配食、移動販売）、②給食支援事業（スクールランチ）、③エネルギー事業、④健康寿命延伸事業、⑤食品製造事業、⑥共助移動支援

特徴的な活動の紹介

(1) 移動販売車（おまかせ便カケル）

ア 概要

- ① 主な利用者は交通弱者の高齢者 ⇒ 今後も増加（運転免許の返納、歩行困難、宅配注文書の記入困難）
- ② 店舗商品を積み込むため、商品構成はコンビニの約2分の1
おおよそ1,000種類（鮮魚・精肉・野菜・果物・惣菜・食品・飲料・日用品）
- ③ 「御用聞き」で機会ロスをなくし、確実に商品を届ける
- ④ 決まった曜日、時間に所定の停車場所で買い物 収納代行も可能



ソーシャルビジネスとして大きな収益がなくても、持ち出しがない状況で事業を継続

このスキームを維持してきたことで、車両96台、138市町村での運行まで拡大ができた



(2) スクールランチ

179市町村のうち完全給食未実施は7町村

ミルク給食：様似町、奥尻町、愛別町、中川町、音威子府村、初山別村
補助給食：小平町

- 完全給食未実施の自治体では、毎日お弁当を持参
- 共働き世帯が増加する中で、毎日のお弁当作りは負担が大きい
- 給食センターの建設には、膨大な初期費用がかかる
- 調理人などの人材確保が難しい

厳しい財政状況、少子化で給食センターの新規建設は非現実的

コープフーズの工場調理した食事を提供
⇒「給食」ではないが、保温・保冷され、栄養にも配慮された食事の提供

あたたかい昼食の提供～スクールランチのスタート
様似町（2021.9～）、愛別町・初山別村（2022.4～）



加温カート（65℃以上を保持）



より給食に近い
温かい配食を実現



行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

・自治体との連携

課題や今後の取り組み

■課題

・車いすの方が利用できない。等

■今後の取り組み

・店舗空白地域への参入

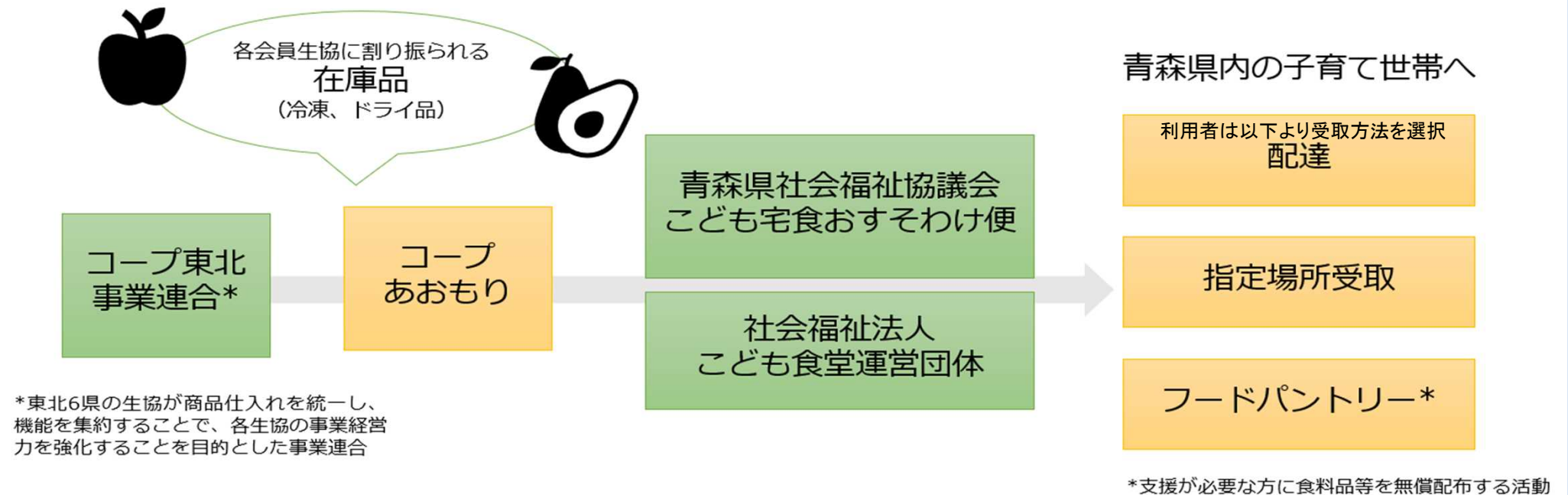
「こども宅食おすそわけ便」への物品無償提供 コープあおもり（青森県）

【事業実施地域】

青森県青森市、八戸市、
五所川原市、三沢市

- 青森県社会福祉協議会が実施する、社会的に孤立した家庭に対する安定的な商品提供体制の構築を目的とした、「こども宅配おすそわけ便」に、コープ東北事業連合から定期的に振り分けられる余った食料品等の一部を無償で提供
- 所得や貧困の格差が広がる社会において、子育て世帯や子どもに対する支援を継続的に行うことにより、これらの世帯等とのつながりを構築し必要な時に必要な支援を実施

特徴的な活動の紹介



行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

・社協などと連携

課題や今後の取り組み

■課題

- ・高齢者がストレスなく、宅配を利用できるよう商品カタログの注文用紙の改善
- ・消費期限が長いお弁当の開発を進める。

■今後の取り組み

- ・本事業の継続、新たに地域の居場所づくりを検討

生活相談・家計再生支援貸付事業 みやぎ生活協同組合（宮城県）

【事業実施地域】
宮城県と仙台市
から受託

- くらしや家計、お金に関わる悩みを抱える方からの相談に対し、家計の収入、支出状況を整理、認識してもらいながら、改善策、解決策を相談者と一緒に考える相談室を設置
 - 宮城県と仙台市より、生活困窮者自立支援法に基づく家計改善支援事業を受託するなど、行政や関係機関と連携した、地域における相談者の暮らしの改善・家計再生を支援
- ※ 事業開始から9年半を経た支援実績：相談総数6,954件、貸付支援1,249件、貸付支援金額累計10億4,562万円

特徴的な活動の紹介



●くらしと家計の相談室(生活相談・家計再生支援貸付事業)

突発的な資金需要や教育費の捻出など、お金に関する様々なご相談を承ります。生協独自の貸付も行っています。宮城県と仙台市の相談事業所も受託しています。

みやぎ生協では、くらしや家計、お金に関わる悩みを抱える方からのご相談をお受けし、現在の家計の状況を整理し、認識してもらいながら、改善策、解決策を相談者と一緒に考えていく「くらしと家計の相談室」を2013年9月に開設しました。
組合員加入の有無は問わず、事業圏域の生活者を対象に、相談料無料で相談をお受けしています。

この事業では、相談の結果の解決手段の一つとして「貸付支援」も行っています。これは、単に資金需要者の収入要件などから判断して融資を行うような、貸付を目的とした事業ではありません。その時の一時しのぎではなく、相談者が自ら家計の改善を望み、持続可能な家計に立て直すすべと一緒に考えます。そして改善、解決の方法として資金の調達が有効であり、他機関からの借入れが困難な場合は、組合員に対して生協から直接、貸付支援を実行するというものです。

みやぎ生協家計再生支援貸付 融資条件（貸付には審査があります。）

対象／他の制度利用に該当せず、貸付により家計再生が図られると判断でき、返済が無理なく出来る方。	
金利／年9.0%	融資限度額／300万円(※1)
返済方式／元利均等返済等	返済期間／5年以内
遅延損害金／年14.6%	その他／連帯保証人または家計管理人(※2)が必要です。

- ご融資の際はみやぎ生協のメンバー（組合員）となるために1000円以上の出資金が必要です。
- 事業資金を用途としたご融資はできません。

※1 収入や資金使途により異なります。

※2 家計管理人とは井済業務は負いませんが借主の家計再生に向けての協力や支援、生協との連絡や調整役など伴走者の役割を担っていただきます。

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

・宮城県と仙台市からの受託事業、困窮者支援団体等との連携

課題や今後の取り組み

■課題

・自治体事業による地域貢献を進めながら、事業運営基盤と相談員体制の安定を図る。

■今後の取り組み

・宮城県内で本事業を実施している自治体との事業事例交流を推進していく。

ひとり親家庭の高校生への奨学金給付 生活協同組合コープみらい（千葉県・埼玉県・東京都）

【事業実施地域】

千葉県、埼玉県、東京都

- 経済的な理由から高校を中退することなく、その後の大学などへの進路を後押しすることを目的として、千葉県・埼玉県・東京都のひとり親家庭の高校生を対象に、返済不要の奨学金(月額1万円)を高校3年間給付
 - 組合員から集まった募金(奨学金応援サポーター募金)を基に、組合員による「たすけあい活動」として、困窮するひとり親家庭を支援
- ※ 事業開始から5年を経た募金額:累計3億1,384万円

特徴的な活動の紹介

奨学金給付の枠組みについて

少数の奨学生に多くの奨学金を給付するのではなく、**多くの奨学生に給付**をしてお役立ちいただくため

月額
1万円

経済的に大変な家庭に対応し、**家計の応援**をすることで奨学生が高校生活に少しでも専念できる環境をつくるため

返済不要
の奨学金

奨学生が中退することなく**卒業まで応援**するため

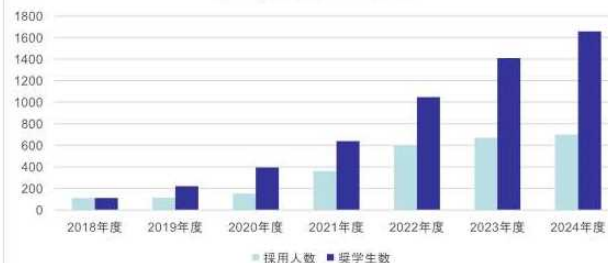
3年間の
給付

※2018年度スタート、2020年度からは在校生も給付対象に追加
制度を知らなかったの声、在学中にひとり親になった人への対応



※2024年度より応募の収入上限設定

採用数と奨学生の推移



組合員どうしの助け合いの制度

コープみらいの組合員の「たすけあいの活動」として進めています

奨学金給付金の財源として組合員の「奨学金応援サポーター募金」を募集

※募金は奨学金給付以外には使いません。宣伝広報や運営事務費等の経費はコープみらい財団が負担しています。

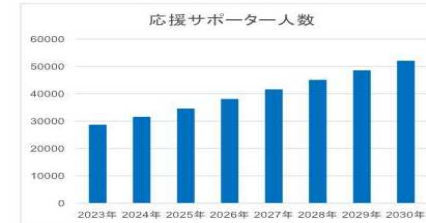
- 奨学金サポーター募金は一口100円単位で、毎月1回宅配の商品代金と一緒に引き落とし。
- 店舗ではレジでの募金、口座登録とあわせての申し込み



宅配は年1回チラシ折り込みや広報紙等でお知らせ
店舗はチラシの配架・ポスター掲示でお知らせ

奨学金給付事業の今後の計画

当面の目標は、2030年度に2,000人の奨学生に
そのために2030年度で50,000人の応援サポーターに



この計画の達成のためには毎年3,000人以上の応援サポーターの拡大が必要です。一人でも多くの高校生の夢が叶えられるように、助け合いの輪を広げたいと思っています。

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

・千葉県、千葉市、埼玉県、さいたま市の中学校長会や教育委員会、3都県内の労働組合、社会福祉協議会、フードバンク等と連携、取り組みを共有

課題や今後の取り組み

■課題 一

■今後の取り組み

・奨学金応援サポーターの増加による当システムの維持・拡充

はたらくデイサービス 福井県民生活協同組合（福井県）

【事業実施地域】

福井県越前市

- 高齢になっても認知症があっても、「自分らしく暮らし続けられる地域共生社会づくり」に向けて、デイサービスセンター職員と認知症の利用者を、共に過ごす仲間（メンバー）と位置づけ、「メンバーの想いを一緒に実現する」ことを大切に、ひとりひとりがやりたいことを実現できる場所である『「はたらく」デイサービス』を運営
- メンバー総数17名、1日平均6人のメンバーが様々な活動に参加し、地域貢献に寄与

特徴的な活動の紹介

（事業所名）県民せいきょう

丹南きらめき あったかホーム

（事業通称）BLG丹南

（事業種別）認知症対応型通所介護（越前市指定）

（開設年月）2011年12月

※ BLG開始年月：2020年4月

（利用定員）1日 12名（月曜日～金曜日）

（職員人数）6名（相談員1名、介護員3名、看護師1名）

【BLGでの活動】※

- ・福井トヨタ（洗車 等）
- ・ハーツたけふ（スーパーでのPOP（値札）切り）
- ・買い物代行の宅配業務委託（有償のお仕事）
- ・地域神社清掃
- ・畑、花壇
- ・ボランティア活動（保育園への雑巾、ゴミ箱、読み聞かせ）
- ・事業所内でのオシゴト

※ ***Barriers***（障害） ***Life***（生活） ***Gathering***（集いの場）

「はたらく」を通じて 地域・社会・仲間と つながるコミュニティ



福井トヨタ店舗での活動
週2回、2～3人で活動、報酬なし
洗車、店内清掃など



畑で育て収穫した野菜を販売
何を植え育てるかもメンバーで決める
大根、はくさい、とうもろこし
ニンジン、枝豆、じゃがいも など



生協の買い物代行「おつかいさん」
注文された商品の配達はメンバーも
毎日7件程度を担う

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・福井県事業を受託し、行政職員や県内介護事業所職員向けに認知高齢者等の社会参加促進セミナーを開催している。

課題や今後の取り組み

■課題 ー

■今後の取り組み

- ・誰もが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。

飛騨市、濃飛バス、コープぎふによる買い物困難者への買い物支援

生活協同組合コープぎふ（岐阜県）

【事業実施地域】

岐阜県飛騨市、高山市
白川村

- 飛騨市と濃飛バス、「コープぎふ」が協力して、飛騨市内の中山間地域など、買い物困難地域を運行する市営バスに生協の商品を積載(貨客混載)しお届けする、買い物支援を実施
- 行政と市営バス、生協が協力し、創意工夫を重ねて、生協の宅配では配達できない中山間地域の買い物困難者を支援
※山ノ村地区は標高約1,000m市街地から車で約50分、地域内にスーパーはない

特徴的な活動の紹介

自動車運送業の生産性向上プラン



□自動車運送業の担い手不足と人口減少に伴う輸送需要の減少により、過疎地域等において人流・物流サービスの持続可能性の確保が深刻な課題となっている。

自動車運送事業者が旅客又は貨物の運送に特化してきた従来のあり方を転換し、サービスの「かけもち」を可能とする。

制度改正前

【乗合バス】



350kg未満の荷物を運ぶことが可能
(道路運送法第82条)

制度改正後

【乗合バス】

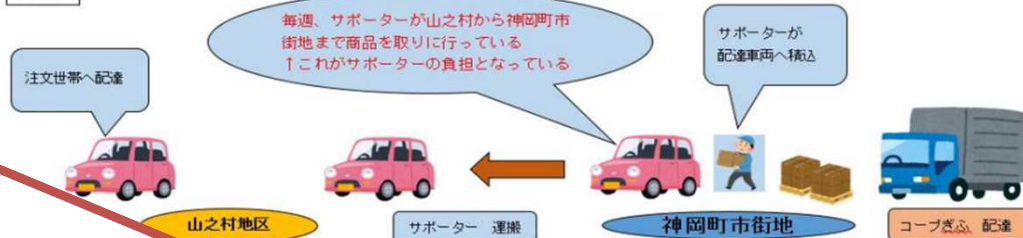


350kg以上の荷物を運ぶことを可能とする
(貨物自動車運送事業の許可を取得)
※350kg未満の荷物を運ぶ場合は、今まで通り許可不要

貨客混載 お届けイメージ

ひだまる山ノ村線 貨客混載のイメージ

現状



貨客混載



行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

市、バス会社との業務提携

課題や今後の取り組み

■課題

・引き続き、お届けの担い手を探すことで事業の継続を担保

■今後の取り組み

- ・買い物支援が持続可能なシステムとして維持できるよう態勢管理を整備
- ・今後とも事業に関わる多様な実証実験を繰り返す。

子育て支援「すくすく応援事業」 トヨタ生活協同組合（愛知県）

【事業実施地域】

愛知県豊田市、
みよし市

- 豊田市と連携した子育て支援活動を実施
- 豊田市内でサービスを利用する子育て世帯を支援するため、店舗を拠点として4つの分野における取り組みを強化
 - ①家計応援：子育て世帯の家計を応援（生協商品の値下げ、割引）、②楽しさ：子どもと楽しめる売り場づくり、③商品：離乳食やお菓子など商品の充実、④生活サポート：買い物ついでのサービスを充実
- 全店舗にて、毎月、子育て世帯の家計を応援する企画を実施

特徴的な活動の紹介

①「家計応援」

第1・3 土日は

すくすく応援デー

はぐみんカードのご提示で
ご利用の際はメグリアカードもご提示ください

5%OFF
ほぐみんカード
レシにて
ほぐみん全品



②「楽しさ」

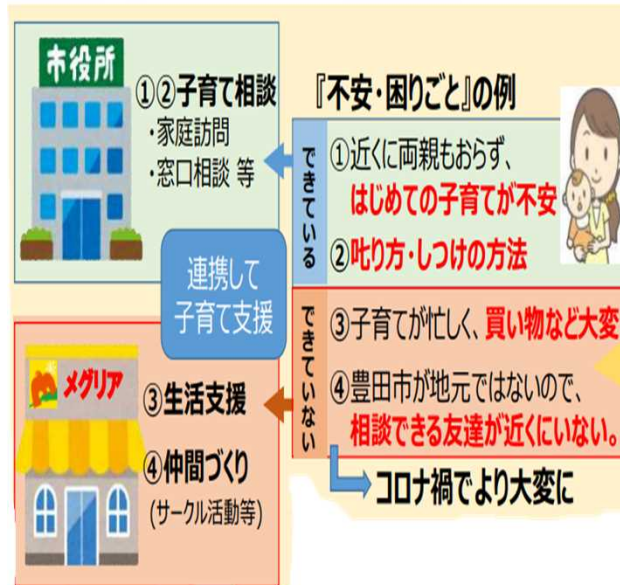
お菓子売場の改装(本店)

キッズステップカートミニの導入(本店・地域3店舗)

- ・本店のお菓子売場を拡大改装
カラフルで明るい売場装飾を施し楽しさを演出
- ・ママと一緒に楽しい買い物を体験



豊田市と連携した子育て (支援イメージ)



③「商品」

CO・OPきらきらステップ・キッズ

・宅配でも大好評の離乳食

・34アイテム展開(本店・地域3店舗)
(内訳) 冷凍食品17i 常温品17i



④「生活サポート」

子供ベビー用品レンタル

・本店、地域サービスカウンター、宅配
での取り次ぎを開始

・チャイルドシート、ベビーベッド・
ベビーカーなどのレンタル受付



行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

・豊田市(2022年11月)・みよし市(2023年3月)と包括連携協定締結

課題や今後の取り組み

■課題

■今後の取り組み

・現行事業に関する顧客分析、アンケートでの評価を踏まえた改善により、一層の取り組みを定着化させる。

軽度の高齢者向け生活支援サービス 保育所や高齢者施設など法人への商品供給 生活協同組合コープあいち（愛知県）

【事業実施地域】

愛知県豊明市

- 豊明市と2つの生協と1つの農協が協力して、高齢者や障害のある方の日常生活上の「ちょっとした困りごと（掃除、洗濯、電球交換、病院への同行など）」を、市民がサポーターとなり、お互いさまの気持ちで支援するしくみ（「ちゃっと」）を構築
- 利用者と登録サポーターは増え続け、月間で延べ200人が利用するサービスに成長し、高齢者等の見守り支援に寄与
- 急速に進む高齢化の中、元気な住民による支援により、住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりに貢献

特徴的な活動の紹介

- 豊明市は、在宅の介護事業所が少なく、人口比率では県下2番目の低さ
- 介護保険制度の改定で軽度者の対応は市町村になり、豊明市としての取り組みを検討

3つの協同組合は、それぞれが地域の住民への支援活動をしていました。

協同することで、もっと住民への支え合いができると思い、新しいしくみの「ちゃっと」（豊明市委託事業）に取り組んでいます。

※「ちゃっと」とは、豊明市で行われている生活のちょっとした困りごとに対応する活動、サービスは豊明市の3つの協働組合（コープあいち、南医療生協、JAあいち尾東）により実施

行政と3つの協同組合が一緒になって地域の支え合いを広げています。

南医療生協

コーディネーターを配置し、サポーターの管理をして、支援の中心を担っています。

JAあいち尾東

サロンの利用者の相談を「ちゃっと」につなげています。また、「ちゃっと」の利用者にサロンを紹介しています。

コープあいち

くらしすけあいの会のしくみが「ちゃっと」に多く取り入れられました。会のメンバーがサポーターを担ったり、サポーター研修を行っています。



「ちゃっと」のしくみ

高齢者の生活の困りごと（掃除、洗たく、電球交換、病院への同行など）に対応してサポーターが支援します。30分、250円で行っています。



生活のちょっとした困りごと

買い物、話し相手、外出の付き添い、ゴミの分別、模様替え、洗たく、縫い物、電球・電池交換、簡単な家具の補修、代筆、ゴミ出し、草木の水やり、雑草取り、雨戸の開閉、掃除、その他（専門事業者を紹介する場合もあります）

「ちゃっと」の利用は36人・364.5時間（2018年7月の1カ月間）、サポーター登録は138人です。

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・豊明市からの受託事業
- ・員外利用許可済み(R4)

課題や今後の取り組み

■課題

- ・特に若年層のサポーターを増やし、幅広い年代による事業としたい。

■今後の取り組み

- ・サポーター登録数を増やし、市民になくてはならない事業を目指す

多世代共生施設の店舗へ商品を生供給し、コミュニティの再形成を目指す 生活協同組合コープみえ（三重県）

【事業実施地域】

三重県桑名市

- 桑名市社会福祉協議会が運営する多世代共生施設「らいむの丘」(※)内にある店舗「らいむショップ」に対し、桑名市社会福祉協議会と連携協定を締結し生協商品を供給
- 高齢化が進み、丘陵地にある住宅地では買い物困難者が増加する中、買い物に不自由する高齢者等への支援を通じて地域共生社会の実現を目指す

※・・・養護老人ホーム、児童発達支援事業所、母子生活支援施設、生活介護事業所、保育園など分野を超えた8つの福祉施設などが一カ所に集まり、福祉サービスを一体化させた施設。
誰もが支え、支えられる新たなコミュニティを構築するための拠点として設立。

特徴的な活動の紹介

地域の課題解決に向けた三つの柱

■コミュニティの再形成

らいむの丘がある松ノ木地区は、約1,500世帯(約4,500人)の住宅地でありながら、人と人、人と地域のつながりが希薄化し、住民の孤立が進行。
→店舗への来訪をきっかけに、らいむの丘が地域住民の集う拠点となることを目指す。

■施設入所者や利用者のくらしを支えるお買い物

敷地内の施設や事業所の利用者については、通常の買い物に困難を抱えている。
→らいむショップは、買い物困難者が生活用品を購入する店舗であり、そこへ商品を供給することでくらしを支える。

それぞれのペースでゆっくり買い物ができるよう、**スローレジ**を実施。

■施設周辺の高齢化への対応

同地区の高齢化率は30%を超え、2025年には周辺の高齢化率は40%近くになる見込み。
→現在も、店舗利用者の約半分が地域の方。3～5年後の高齢者・単身者の買い物の不自由さに対応していく。



施設の運営委員会において、**安心・安全といったイメージのある生協の商品を置いてほしい**との声あり。

■店舗でのフードドライブの実施

- ・店舗内にボックスを設置し、利用者に家庭で余っている食品の寄付を呼びかける。
- ・集まった食品は組合員が仕分け、支援が必要な方へ社協から配布する。



↑ 員外利用許可を受けて商品を供給している旨を店舗内に掲示。

■供給の仕組み・・・宅配の仕組みを利用し、週に2回、店舗に商品を供給。品揃えについては、ドライ食品と日用品が中心。

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・店舗への供給方法を検討するにあたって、コープみえ内の各部局(桑名センター、宅配事業部、店舗事業部、仲間づくり・共済部、組織活動推進部)が横断的に連携し、検討チームを発足。
- ・員外利用の許可申請にあたっては、県担当者と綿密な打ち合わせを重ね、スピード感を持って手続きを進めた。
- ・実施にあたって、桑名市社協と「地域共生社会の実現に関する連携協定」を締結。らいむショップに関するほか、生活困窮者自立支援、子育て支援、高齢者支援、障がい者支援に関することでも連携・協力。

課題や今後の取り組み

■課題

- ・らいむショップの損益改善と安定した運営
- ・供給方法の改善(宅配の仕組みだと、品切れの際にすぐ補充できないなど)
- ・利用者の声に応える品揃えの検討(日配品や冷蔵・冷凍品など)

■今後の取り組み

- ・らいむの丘全体として、コミュニティの再形成に向けて、人が集う仕掛けづくりを進める
→らいむショップに隣接する「ヴィレッジセンター(交流館)」を活用して、学習会やサロンを開催し、地域の住民の居場所となることを目指す。

市社協との連携による良品返品商品の提供 生活協同組合コープみえ（三重県）

【事業実施地域】
三重県伊賀市

- 伊賀市社会福祉協議会が実施する、貧困その他の事由により生活を営む上で困難を有する者（生活困窮者）を対象とした食料や日用品等を支給する活動に対し、組合員から返品された商品を支援物資として供給
- 生協からの返品された商品だけでは数量や内容にバラつきが生じ、また、小売業者からの提供だけでは供給が追いつかないことから、有償による支援物資の供給要請を受け実施
- 困窮する子育て世帯の支援に寄与

特徴的な活動の紹介

新型コロナウイルスの影響を受ける
ひとり親家庭や子育て世帯を応援します!!

「もったいない」「ありがとう」に・・・
ご家庭などで眠っている食糧のご寄付を募ります!!

募集▶常温保存ができる食品、未開封の子ども用紙おむつ
食品は、賞味期限が1ヶ月以上あり、未開封のもの
例) 米・レトルト食品(ご飯・おかず等)・缶詰・カップ麺・
パスタ・飲料・お菓子など
●賞味期限が明記されていない食品、お酒などの嗜好品は受付できません。
●時間内の持ち込みが難しい場合は、ご相談ください。

日時 2023年 7月24日(月)～28日(金)
時間 8:30～17:00
場所 伊賀市社協 各地域センター (直接お持ちこみください)

お問い合わせ先

生活相談会と、米・紙オムツ・
生理用品を無料でおわたします

対象▶伊賀市にお住まいの、コロナや物価の値上げ
などで、生活に影響を受けている世帯

日時 2023年 8月6日(日)
時間 10:00～12:00
場所 伊賀市総合福祉会館 駐車場

提供品▶お米、紙オムツ、生理用品、
保存食糧等 (なくなり次第終了)

●7月31日(月)までにお申し込みください。
●当日、お困りごとの相談もできます。
●マイバック等をお持ちください。
●当日来場できない場合は、事前にご相談ください。

申込・お問い合わせ先
伊賀市社会福祉協議会
くらしサポートセンター おあいこ
☎ 0595(22)0084

※この事業は、伊賀市福祉推進費補助金を活用して実施します。
主催(協) 伊賀市社会福祉協議会、協力 伊賀市社会福祉法人連協会、伊賀市民生委員児童委員連合会、生活協同組合コープみえ



行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・生協と伊賀市社会福祉協議会との連携
- ・員外利用許可済み(R3)

課題や今後の取り組み

- 課題 —
- 今後の取り組み
- ・地域共生社会の実現に向けて、生協が地域社会への貢献活動に取り組むことを目的とする。

みんなで居場所をつくるプロジェクト 大阪いずみ市民生活協同組合（大阪府）

【事業実施地域】

大阪狭山市、八尾市
堺市、高石市

- 「学び・つながり・支え合う」ことをコンセプトに、「大阪いずみ市民生協」の施設を、地域住民が団らんや自由時間を求めて自然と立ち寄れる場所である「まちに開かれたリビング」として開放
- 誰でもが気軽に入れて、つながることができる場所を、「自分がやりたい」と思う活動を通じて作り上げていく取り組みであり、現在4か所(大阪狭山市、八尾市、堺市、高石市)で構築中
- 訪れた人「みんな」で居場所をつくり、その過程やその後において、「人と人とのつながり」が生まれ続ける場所づくりを目指す取り組み

特徴的な活動の紹介

このプロジェクトが始まった背景は？

いま、世の中では社会的孤立が問題視されています。また近年の新型コロナウイルスの影響により、その流れはいつそう進んでいます。「誰ひとり取り残さない」そんな課題を解決する目的で生まれたのがこのプロジェクトです。

「みんなで居場所をつくるプロジェクト」のゴールは？

はじめの頃は「誰もが入れるようにしたい」という思いから、一緒にお茶したりごはんを食べられるようなサードプレイスが理想だと考えていました。「食べる」という要素が人と人とのつながりづくりを促進してくれるのでは、と思ったからです。でも、いまは決まった目的を持たないというスタンスに変化しました。目的を限定しないことで、どんな人が来ても受け入れることができるし、それが色々な物事が集まってくる理由になるからです。

みんなで一緒に

すきいまツアー！！

「まちのリビング」第1号の「すきいま」(大阪府狭山市)は、駅からすぐ近くのマンション1階にある約50坪の空間。2019年に活動をスタートした「みんなでつくった居場所」の現在の姿を、ちょっぴりご紹介します。

すきいまの家具たちは、みんなの家で使わなくなったものや生協から譲り受けたもの、DIYで手づくりしたものなど様々。ふすまをアップサイクルした移動式パーティションは、中高生の試験勉強やビジネスマンのリモート会議など、様々なシーンで目録として使えます。みんなでつくった木製パレットは本棚に、あるいはマットと組み合わせて小上がりやコタツ台にと大活躍！

奥の広い空間は、折りたたみ式のイスとテーブルを広げてレクチャールームとして使用可能。床には養生テープでつくった巨大オセロの盤があり、子どもたちはここで真剣にオセロをし、自由遊んでいるそう！

カウンター付きのオープンキッチン。壁にはいろいろな色や形のマイカップが、コーヒー片手に会話が弾むコミュニケーションスペースです。

60年以上の歴史を持つプラレール。みんなが家から持ちよったパーツを組み合わせて「理想の大阪狭山」をつくりました。子どもたちはもちろん、いろいろな世代の人が参加して楽しんでいます。

DIYワークショップでみんながつくったイスとテーブルは、みんながホッとひと休める憩いの場。イベント時にはバーンを追加して舞台に変身することも！地元の「河内木材」を使っている、地域の魅力発掘にも一役買っています。

外から見ると約8mのながーい壁は黒板に。塗壁さん指導のもと、みんなで塗りました。ふだんは地域のおすめスポットを紹介するマップやスケジュールを書き込む情報共有ツールとして使ったり、イベント時にはイラストを描いて飾ったり。もちろん、子どもたちの落書きも大歓迎！「すきいま」のシンボリックな存在です。

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・堺市 学習と居場所づくり支援事業
- ・八尾市 まちのコイン地域活性化プロジェクト

課題や今後の取り組み

■課題

■今後の取り組み

- ・決まった目的を持たないサードプレイスを目指し、住民が団らんや自分時間を求めて自然とリビングに立ち寄れるような場所づくりを目指す。

困窮者支援、居住支援、女性支援、買い物支援 生活協同組合コープこうべ（兵庫県）

【事業実施地域】

兵庫県神戸市、尼崎市
他

- 尼崎市内の老朽化する市営住宅の空き住戸を活用し、DV被害女性やシングルマザーなどの住宅確保要配慮者へ提供し、自立を支援
- 「近くにお店が無い、買い物ができない」という組合員への買い物支援。さらに、店舗以外の地域の福祉作業所を宅配商品の受け渡し場所として活用し、その担い手を障がい者の方をお願いするなど、障がい者の就労・実習の場の創出
- ちょっとした助けが欲しい人と助けたい人をスマホのアプリでつなぎ、助け合える地域づくりを目指す
- 住宅取得が困難なシングルマザーや若年女性、外国人留学生などが健やかな生活を送れるよう住まいを提供し、自立を支援

特徴的な活動の紹介

あまがさき住環境支援事業「REHUL(リーフル)」

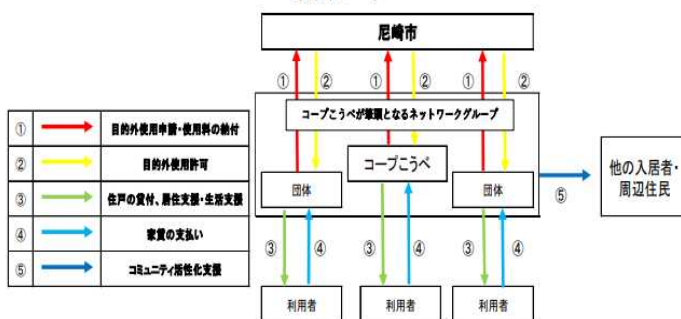
【尼崎市営住宅の課題】

新規入居者の募集停止
→ 空き家の増加や入居者の減少
市営住宅の自治会活動の停滞化
入居者1人当たりの共益費等の負担増 など

【『「コープこうべ」が筆頭となるネットワークグループ』の創設】

市が直接、当該ネットワークグループに参加する団体に対し、空き家の使用を許可
→ 【効果】住宅要配慮者への住宅提供期間の大幅な縮減
《「コープこうべ」の役割》
・市と各団体間、自治体間の調整 など

事業イメージ



買い物もん行こカー

仕組み

- 毎週1回、決まった曜日・時間に、ご自宅玄関先から店舗まで送迎
- 利用料は無料
- 利用エリア
実施店舗から片道約20分程度のエリア
- 利用対象
①65歳以上
②障害者手帳をお持ちの方
③妊娠中、未就学児をお連れの方
①②③のいずれかを満たすコープこうべ組合員

買い物支援ボランティア活動と連動した取り組みも。組合員同士の助け合いの輪が広がっています。



たすけタッチ



ご近所の方のごみ出しを手伝う組合員

ちょっとした助けが欲しい人と助けたい人をスマホのアプリでつなぐ「たすけタッチ」！

【役割】
人と人とのつながりをつくり助け合える地域づくりをめざす。

地域との協働宅配

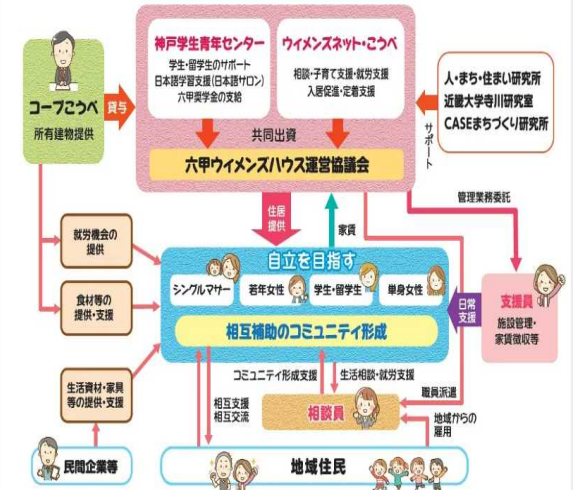
福祉作業所の利用者がコープこうべの宅配商品のお届けを開始。
障がいのある方の社会参加・活躍を応援するとともに宅配を通じて地域の買い物支援、高齢者の見守りにつなげる。



宅配商品を届ける福祉作業所の利用者

六甲ウイメンズハウス

コープこうべ店舗上層階の元女子寮が生まれ変わって女性のための共同住宅に！



【役割】
・住宅取得が困難なシングルマザーや若年女性、外国人留学生などに対する住まいの提供
・シングルマザーの相談窓口の確保、自立への支援
・職を持たない女性への就業支援、食糧支援。等

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

・市、町、社協、NPO法人、学校、福祉事業者などと連携

課題や今後の取り組み

■課題

■今後の取り組み

・多くの地域活動者・組合員に参加を呼びかけ、地域初の協働プロジェクトの芽が生まれることをめざす。

自治体が立ち上げた法人へ委託して行う宅配と見守り活動 市民生活協同組合ならコープ（奈良県）

【事業実施地域】

奈良県川上村

- 自治体が立ち上げた社団法人(かわかみらいふ)に、生協の宅配事業を委託し、川上村の高齢者を対象にした宅配業務と見守り活動を併せて実施
- 川上村は、ならコープから人的支援を受け、ならコープがこれまで培ったノウハウや知見を活かして、村のくらしの価値化や魅力の発信、地域資源の利活用など、村づくりを実施(生協職員が自治体の村づくりに自治体に出向して、参画することは全国初)
- 村内での雇用創出、経済循環による地域振興と誰もが安心して住み続けられる仕組みの構築に寄与

※ 川上村の組合員加入率73.9%(奈良県下1位に)

特徴的な活動の紹介

■県内における買い物困難者は増加傾向にあり「近所には買い物ができるところがない」、「遠隔地のお店を訪れる手段がない」など地域からの声に応える形で当該取り組みを構築した。

●かわかみらいふとの協業

2016年10月から買い物支援事業を開始。

川上村での宅配事業を川上村が運営する「一般社団法人かわかみらいふ」に委託し、商品のお届けだけでなくコミュニティを大切に、看護師・歯科衛生士との連携した健康相談で暮らしを支える。村内における雇用とサービスの創出と交流の場づくりを目的とした同法人との協業により、利用者数は約420人で7人のスタッフが商品配達時に困りごとの解消や見守り活動を実施。



(一社)かわかみらいふとの協業



移動店舗3号車の運行



御所市見守り協定締結式



大淀町見守り協定締結式

●行政と連携した見守り協定(20自治体)

奈良県、とくに吉野地域は高齢化が進んでおり、外出が困難な方もいらっしゃいます。県全域で見守り協定の締結をすすめ、お買い物支援や夕食宅配サービスなどを通して高齢者の生活を見守っています。

(協定締結行政)

奈良県、奈良市、平群町、香芝市、三郷町、川西町、桜井市、広陵町、葛城市、宇陀市、田原本町、高取町、明日香村、三宅町、生駒市、大和郡山市、橿原市、天理市、御所市、大淀町

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・川上村と「村づくりに関する包括連携協定」締結
- ・員外利用許可済み(R4)

課題や今後の取り組み

■課題一

■今後の取り組み

- ・いきがいつくり農業、訪問型生活サービスの実施
- ・本事業を県内全域に広げたい。川上村の豊富な水と森の重年を活用したエネルギー事業も検討

自治会と連携した買い物支援（商品供給）と有償ボランティアによる生活支援 鳥取県生活協同組合（鳥取県）

【事業実施地域】

鳥取県米子市

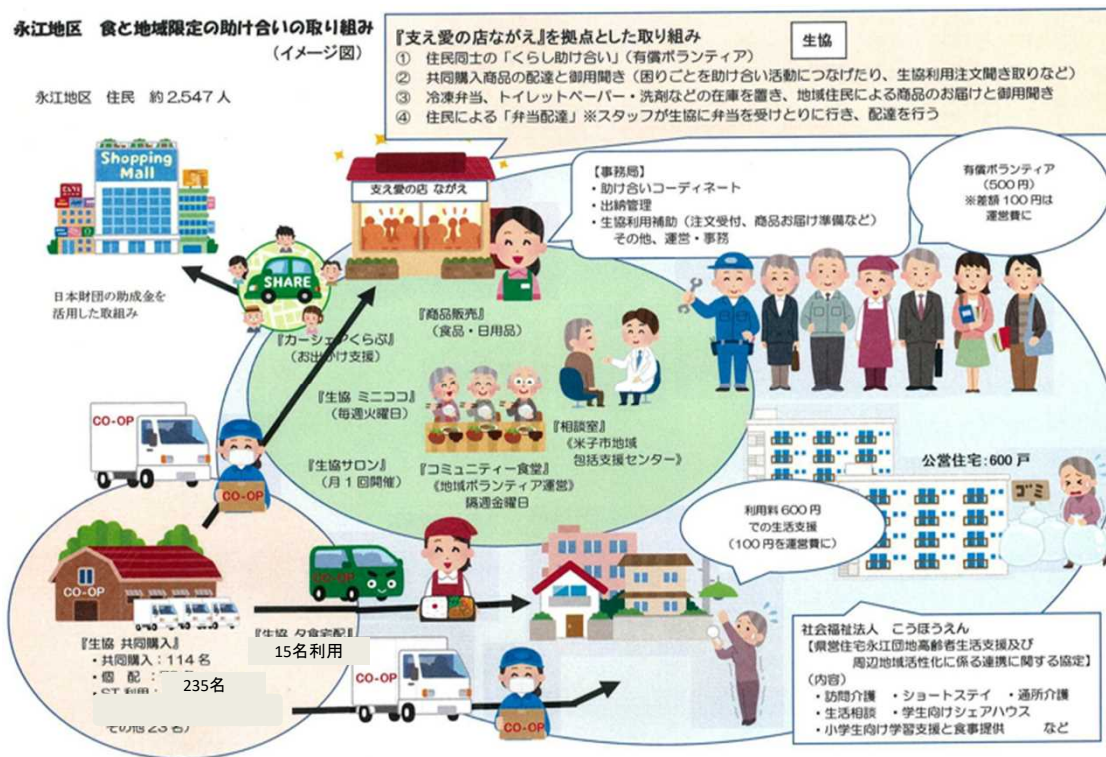
- 自治会が運営する「支え愛の店ながえ」を拠点として、庭掃除や草取り、部屋の片づけなど、地域のニーズと住民の得意分野を生かす活動を実施
- 地域の人口減少等を理由としたスーパーマーケットの閉店に伴い、買い物に困難を来す県営団地に居住する高齢者を対象とした「夕食配達」や「生協商品」の販売を実施
- 「鳥取県生協」が実施する、介護事業に当たらない簡単な生活のお手伝いを行う取り組みを参考に、自治会と協議のうえ「有償ボランティア活動」を実施

特徴的な活動の紹介

- 県内における人口減少と少子高齢化は今後さらに深刻な問題。特に、高齢者が気軽に歩いて行ける買い物先が無くなる。
- コミュニティ機能の維持をするための活動が重要となり、地域のつながりをどのように作るかが課題
- 将来的に県内市場が縮小されると想定、買い物弱者のさらなる増加への対応から、このような活動をスタートした

永江地区 食と地域限定の助け合いの取り組み (イメージ図)

永江地区 住民 約2,547人



お家の片付けや草取り、衣類整理、剪定、ゴミ処理など31名のボランティアさんの登録で200時間を超える活動となっています。



コープ共済連の助成金も活用し、冷凍冷蔵庫を設置。共同購入の仕組みを使い商品を販売しています。



地域の方に「夕食宅配(お弁当)」を配っていただき、声掛けを行っていた。「空いた時間でお小遣いも出来て嬉しいわ」との声も。

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・永江地区自治連合会と「地域支援活動に関する協定」締結
- ・コープ共済連が出資する「地域ささえあい助成」を活用
- ・員外利用許可済み(R3)

課題や今後の取り組み

■課題

- ・現状、助成に頼った活動にならざるを得ない。

■今後の取り組み

- ・助成に頼らない持続可能な取り組みを作り上げる。

は〜と♡ふるネット 生活協同組合おかやまコープ（岡山県）

【事業実施地域】

岡山県全域

- 岡山県内で「ふだんのくらしの中で困りごとがある方」からの連絡を受け、相談・調整を担当するコーディネーター（組合員）が仲介し、予め登録した応援者（組合員）が、屋内外の掃除・食事づくり・洗濯など、自分のできる範囲の手助けを実施
- 「困ったときは、おたがいさま」の精神で、応援者は気軽に参加できる、利用者は気兼ねなく利用できることを信条に、「できる人が」、「できるときに」、「できること」を応援する取り組み
- 2023年度末現在、利用者868人、応援者349人が利用するサービスに成長し、高齢者等の見守り、子育て支援を実施

特徴的な活動の紹介

おかやまコープ 生活支援サービス **は〜と♡ふるネット**

あなたが「ちょっと助けてほしい、という時、
「困ったときは、おたがいさま」の気持ちで、
組合員さんが自分にできる範囲のことでお手伝いしています。

「困った」とき、お電話ください

スッキッ! / 元気が出ます! / ほっとひと息 / 後援ですとばかりです。

お部屋・お風呂の掃除 / 話し相手 / 子育て応援 / 車取り・水やり

入会金・会費は必要ありません
※要登録

組合員でなくても利用できます

ご利用は1時間! 980円!
30分までは630円
※口直しきき落としです

応援者1人につき

応援者は活動費1時間あたり650円と交通費実費



総合窓口への電話

月 280 件

そのうち登録希望・問い合わせ 月 50 件

は〜と♡ふるネットの利用

活動した内容

月 929 件
月 1,202 時間



登録している人

応援者 349 人・利用者 868 人

(2023 年度数値)

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

- ・「介護予防・日常生活支援総合事業」新見市・早島町で受託
- ・「生活支援体制協議体」第1層、2層、部会等のメンバー。瀬戸内市・津山市・総社市・浅口市・美咲町・新見市・高梁市・赤磐市・笠岡市
- ・「小地域ケア会議」メンバー。倉敷市
- ・「生活支援サービス団体連絡会」メンバー。体験活動受け入れ
- ・「瀬戸内市活動者交流会」社協・シルバー人材センター・行政といっしょに開催

課題や今後の取り組み

■課題

・応援者を増やし、困りごとの希望に応えやすく、活動の負担を少なくする。行政や諸団体とのつながりをより深め、みんなで支える地域をめざす。

■今後の取り組み

・応援者の声を受け止め、より活動しやすく見直しをすすめる。行政や諸団体とともに生活支援をすすめられるよう働きかけを続ける。しくみの見直し。引き続き、より活動が広がり、地域からの期待に応えられるようにする。

生協の配送センターを利用したフードパントリー エフコープ生活協同組合（福岡県）

【事業実施地域】
福岡県太宰府市

- 生協と4つの企業・団体が協働で「子ども応援団」を組織し、「エフコープ生協」では、配送センターを活用したフードパントリーを開催し、フードバンク活動などで集めた食品を、「食」に困る世帯や子育て世帯、母子支援施設に配布
- エフコープ全店でフードドライブを開催し、回収した食品をフードバンク団体へ寄附

特徴的な活動の紹介

取組概要

- ・エフコープと4つの団体が協働して「筑紫地区子ども応援団」を発足し、フードバンク活動などで集めた食品をエフコープ太宰府支所が保管してフードパントリーで配布。

- ・エフコープ全店でフードドライブを開催。

(※)・(特非)チャイルドケアセンター
・筑紫女学園大学の学生や教職員
・(株)西松建設九州支社
・ふくおか筑紫フードバンク運営委員会

取組のポイント

- ・通常は配送センターとして使用しているプラットホームを有効活用し、配送トラックが出払っている時間帯に、仕分け、積み込み作業の場として使用。
- ・子ども食堂30団体強がフードパントリーに参加。食品の仕分けも、子ども食堂運営者だけでなく、地域の企業ボランティアが協力するなど、様々な団体に協力の輪が広がっている。

成果・効果

- ・「筑紫地区子ども応援団」累計で46,568世帯に85tの寄贈食品を提供。
- ・「エフコープ店舗のフードドライブ活動」累計4,969kgの食品を回収し、フードバンク団体へ寄贈。

取組実施期間

- ・「筑紫地区子ども応援団」2020年～現在（毎月第2木曜日に開催予定）
- ・「エフコープ店舗のフードドライブ活動」2018年～現在（奇数月と10月に実施）

エフコープ生活協同組合（太宰府市・県内全域）



行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

・生協と4つの企業・団体が協働

課題や今後の取り組み

■課題 —

■今後の取り組み

・フードロス削減による子ども食堂等への食品支援

楽しいお買い物クラブ 生活協同組合コープかごしま（鹿児島県）

【事業実施地域】

鹿児島県薩摩川内市

- スーパーマーケットの移転や小売店の廃業により、買い物に困難を来す薩摩川内市内に居住する高齢者を対象に、社会福祉協議会等と協力し、「無店舗配達」と「公民館活動」が連携した買い物支援と地域コミュニティ活動の活性化に資する取り組み（楽しいお買い物クラブ）を実施
- 地域の組合員（コープフレンズ）による、買い物に困難を来す高齢者を対象とした、注文書の記入方法や商品の説明、或いはレクリエーションの実施など、地域コミュニティ活動の活性化に向けた取り組みを実施
- 移動店舗は95カ所に運行。毎週約340人が利用するまでに成長し、買い物支援とコミュニティ活動の活性化に寄与

特徴的な活動の紹介



薩摩川内市入来の朝陽コミュニティセンターで「朝陽楽しいお買い物クラブ」がスタート。「無店舗配達と公民館活動の連携」で買い物支援と地域コミュニティ活動の活性化を目指す。



商品の受け取り（配達）となり、コミュニティセンターに集まった参加者（組合員）は、配達トラックが来るまで、生協職員や地域の活動組合員の協力でゲームを楽しんだり、商品の使い方を聞いたり、カタログを見て商品の注文をして時間を過ごし、商品が届くと注文品を受け取ることとなる。

＜納豆の学習会の様子＞



買い物が難しい高齢者が、コミュニティセンターでコープの共同購入でお買い物ができ、同時に商品やくらしの学習、おしゃべりやレクリエーションなどのサロン活動も楽しんでいただくという目的のもと、薩摩川内市社会福祉協議会・朝陽地区コミュニティ協議会等で準備



開始日当日（配達商品の仕分け）

生協コープかごしまの地域への寄り添い方の新しいモデルとして「無店舗配達と公民館活動の連携」の仕組みを確立し、今後は他地域（他自治体）へ広げることも目指す。

行政や他の組合、医療・福祉事業者等との連携等

薩摩川内市社会福祉協議会との連携

課題や今後の取り組み

■課題 ー

■今後の取り組み

・当該取り組みを他地域へ広げることを目指す。